

■樹木一覧

番号	名称	所在地	幹周	樹高	樹齡	備考
1	布忍神社のくす	北新町2-4-11 布忍神社内	490cm	20m	推定300~400年	巨樹
2	阿保神社のくす(1)	阿保5-4-19 阿保神社内	485cm	20m	推定300~400年 (伝1200年)	巨樹 (伝阿保親王お手植え)
3	屯倉神社のくす(1)	三宅中4-1-8 屯倉神社内	470cm	16m	推定300~400年	巨樹
4	熱田神社のくす(1)	別所6-4-28 熱田神社内	434cm	20m	推定300~400年	巨樹
5	来迎寺のいぶき	丹南3-1-22 来迎寺内	410cm	15m	推定300年以上 (伝600年)	大阪府指定天然記念物 巨樹
6	阿保神社のくす(2)	阿保5-4-19 阿保神社内	380cm	20m	推定200~300年	巨樹
7	大林寺東方神木くす	北新町1-7-4	380cm	17m	推定200~300年	巨樹 (旧向井村屋敷地内)
8	若林神社のくす(2)	若林1-6-30 若林神社内	347cm	30m	推定150~200年	巨樹
9	若林神社のくす(1)	若林1-6-30 若林神社内	337cm	30m	推定150~200年	巨樹
10	屯倉神社のくす(7)	三宅中4-1-8 屯倉神社内	330cm	13m	推定100~150年	巨樹
11	西除川堤防東のくす	北新町1-5-1	315cm	16m	推定100~150年	巨樹 (旧向井村庄屋宅内)
12	阿保神社のくす(3)	阿保5-4-19 阿保神社内	310cm	18m	推定100~150年	巨樹
13	田坐神社のくす(1)	田井城5-5 田坐神社内	310cm	19m	推定100年程度	巨樹
14	若林神社のいちよう(2)	若林1-6-30 若林神社内	308cm	18m	推定200~300年	巨樹
15	若林神社のいちよう(1)	若林1-6-30 若林神社内	301cm	20m	推定200~300年	巨樹
16	屯倉神社のくす(10)	三宅中4-1-8 屯倉神社内	300cm	16m	推定100年程度	巨樹
17	熱田神社のくす(5)	別所6-4-28 熱田神社内	298cm	20m	推定100年程度	
18	屯倉神社のくす(8)	三宅中4-1-8 屯倉神社内	270cm	15m	推定70年程度	
19	熱田神社のくす(7)	別所6-4-28 熱田神社内	260cm	20m	推定70年程度	
20	巖島神社のくぬぎ	一津屋5-8-19 巖島神社内	250cm	20m	推定60年程度	一津屋古墳上
21	巖島神社のくす(2)	一津屋5-8-19 巖島神社内	250cm	20m	推定60年程度	一津屋古墳上
22	高見神社のくす	高見の里3-8-29 高見神社内	250cm	11m	推定60年程度	
23	丹南天満宮のくろがねもち	丹南3-6 丹南天満宮内	250cm	10m	樹齡不明	
24	屯倉神社のえのき(1)	三宅中4-1-8 屯倉神社内	250cm	14m	樹齡不明	
25	屯倉神社のくす(5)	三宅中4-1-8 屯倉神社内	250cm	15m	推定60年程度	
26	屯倉神社のくす(9)	三宅中4-1-8 屯倉神社内	250cm	14m	推定60年程度	
27	布忍神社のむく(2)	北新町2-4-11 布忍神社内	250cm	16m	樹齡不明	
28	巖島神社のくす(1)	一津屋5-8-19 巖島神社内	240cm	20m	推定60年程度	一津屋古墳上
29	高見神社のえのき	高見の里3-8-29 高見神社内	240cm	14m	樹齡不明	
30	柴籬神社のきささげ	上田7-12-22 柴籬神社内	130cm	6m	樹齡不明	市内唯一の樹種

※各樹木の位置は中面の地図上の番号をご覧ください。
 ※表中の名称の()内数字は、冊子「松原の樹木」で付した同一地内の同一樹種各個体に与えた番号です。
 ※リストは幹周の大きい順に並べています。
 ※巨樹とするのは、環境省基準に基づきます。



樹木紀行

まつばら歴史さんぽ
vol.2

松原地域の巨樹を巡って
松原市の歴史と緑に触れてみませんか。



大阪府指定天然記念物 来迎寺(丹南)のいぶき

松原市域は平坦な土地ですので、天然林は見られませんが、神社や寺の境内には、社寺林があり、かつての植生の面影を見ることができます。

それぞれの社寺が鎮座・創建されて以来、境内に生える樹木は信仰空間の大切な要素となっていることから、これらの社寺林は社寺の由緒・歴史とともに、地域の風土に適応してきたのです。

市域には、樹齢六〇〇年と伝えられている丹南・来迎寺のいぶきが名木として、大阪府の指定天然記念物となっています。他にも、各社寺に巨樹としてのくすのきが多数残っています。布忍神社(北新町)・阿保神社(阿保)・屯倉神社(三宅中)・熱田神社(別所)・田坐神社(田井城)・若林神社(若林)などのくすのきは、江戸時代初頭にあたる樹齢四〇〇年前後から江戸時代末期の樹齢一五〇年前後のものと推定されています。

くすのき以外にも、くろがねもち・いちよう・えのき・くぬぎなどの巨樹が各社寺に生えています。一津屋古墳上に鎮座する巖島神社(一津屋)のくぬぎやくすのきなどは、森林型の植生を呈しています。また、柴籬神社(上田)のきささげは、市域では唯一の樹種として知られています。松原の樹木紀行に出かけましょう。

まつばら歴史さんぽ 「樹木紀行」散策マップ

松原市域の社寺に見られる
巨木、古木を紹介します。
それぞれの樹木の由来とともに
まつばらの歴史を感じてください。



1 布忍神社のくす 北新町2丁目
2 阿保神社のくす(1) 阿保5丁目



3 屯倉神社のくす(1) 三宅中4丁目
4 熱田神社のくす(1) 別所6丁目



5 来迎寺のいぶき 丹南3丁目
6 阿保神社のくす(2) 阿保5丁目



まさいでん ねんり 正井殿の「連理の松」
縁結びや安産を願い信仰された江戸時代の神木の松
連理の松 丹北郡松原の庄 間西天の神木也

- しなたれるひよく連理の松か枝に
人目も恥もしら藤の花(狂歌/利光)
- 葉をしきてふたりねせし八これそ
この連理の松のあれはなりけり(狂歌/松緑)
- 巢やかかけん比翼連理の松の枝(意朝)
- 契り来なげ連理のまつそ郭公(如貞)
- 心かりりするな連理の松の色(器水)

上の狂歌や俳諧は、延宝7年(1679)に河内の名所・旧跡を紹介した「河内鑑名所記」に収められたものです。
ここでは、丹北郡松原庄にある間西天の神木「連理の松」をとりあげています。松原庄は、現在の上田・新堂・岡の地域にあたり、間西天はいまの岡3丁目の松原南小学校前に鎮座する正井殿をいい、

素盞鳴命を祭神として
います。この正井殿の
境内に、江戸時代前半
ごろ「連理の松」とよぶ
河内でも評判の松がみ
られたのです。「連理」
とは1本の木の枝が他
の木の枝につき、1本の
木のようになることです。歌にある「比翼」は「連理」と結びついて
「比翼連理の契り」ということばになって、男女・夫婦の仲がきわめて
親密なことのとえに使われています。そこから、縁結びや安産の
神木として崇拝されるようになりました。
「連理の松」は今では現存していませんが、境内にはなごりの松が
植えられています。
(西田孝司、松原市役所「松原歴史ウォーク」No.68より)



正井殿(岡3丁目)

松原とマツ
松原市は、昭和50年
(1975)2月1日の市制
20周年記念日に、市の
木をマツ、市の花をバラ
と制定しました。この2
つを合わせると「マツバ
ラ」になります。マツとバラとによる緑と花の多いうらおいのある街づ
くりによって、市を発展させたいという願いがこめられているのです。
市名は5世紀前半、柴籬神社付近におかれたと伝わる反正天皇の
丹比柴籬宮の地がち「松生しい丹比の松原」とよばれたことに由来
するといわれています。以前は、柴籬神社参道沿いに松並木が続いて
いました。
市名のいわれとなった松の植生を大切に、緑の景観を守って
いきたいものです。(同「松原歴史ウォーク」No.21より)



昭和6年ごろの柴籬神社参道の松並木(上田7丁目)



26 屯倉神社のくす(9) 三宅中4丁目
27 布忍神社のむく(2) 北新町2丁目
28 厳島神社のくす(1) 一津屋5丁目
29 高見神社のえのき 高見の里3丁目
30 柴籬神社のきささげ 上田7丁目

※各樹木の説明は裏面の「樹木一覽」をご覧ください。